

【参考】他市の平和宣言等①

■宣言状況（日本非核宣言自治体協議会調べ 平成27年8月1日現在）

・全国

自治体数(市町村・都道府県・特別区)	1,788
宣言自治体数	1,587
宣言率	88.8%

・岐阜県内

自治体数(県・市町村)	43
宣言自治体数	24
宣言率	55.8%

■宣言事例

広島市

核兵器廃絶広島平和都市宣言

広島市は、被爆以来一貫して、再びヒロシマを繰り返さないため、核兵器廃絶を全世界に強く訴え続けてきた。

しかし、被爆者をはじめ、世界諸国民の願いにもかかわらず、依然として核軍拡競争が繰り返され、人類は今まさに存亡の岐路に立たされている。核兵器の廃絶は、一刻の逡巡も許されない、人類の死活にかかわる最も重要かつ緊急の課題となっており、その実現に努力することは、人類史上最初の被爆都市広島の大責務である。

広島市議会は、被爆40周年を迎えるにあたり、改めて核兵器廃絶の緊急性を世界に強く訴えるものである。

さらに、「広島平和記念都市建設法」の理念に基づいて、平和都市建設を進めるとともに、広島市は、核をつくらず、持たず、持ち込ませぬの非核三原則を守り、ここに、核兵器廃絶平和都市であることを宣言する。

以上、決議する。

昭和60年7月3日

広島市議会

【参考】他市の平和宣言等②

長崎市

長崎市民平和憲章

私たちのまち長崎は、古くから海外文化の窓口として発展し、諸外国との交流を通じて豊かな文化をはぐくんできました。

第二次世界大戦の末期、昭和20年(1945年)8月9日、長崎は原子爆弾によって大きな被害を受けました。私たちは、過去の戦争を深く反省し、原爆被爆の悲惨さと、今なお続く被爆者の苦しみを忘れることなく、長崎を最後の被爆地にしなければなりません。

世界の恒久平和は、人類共通の願いです。

私たち長崎市民は、日本国憲法に掲げられた平和希求の精神に基づき、民主主義と平和で安全な市民生活を守り、世界平和実現のために努力することを誓い、長崎市制施行百周年に当たり、ここに長崎市民平和憲章を定めます。

1. 私たちは、お互いの人権を尊重し、差別のない思いやりにあふれた明るい社会づくりに努めます。
1. 私たちは、次代を担う子供たちに、戦争の恐ろしさを原爆被爆の体験とともに語り伝え、平和に関する教育の充実に努めます。
1. 私たちは、国際文化都市として世界の人々との交流を深めながら、国連並びに世界の各都市と連帯して人類の繁栄と福祉の向上に努めます。
1. 私たちは、核兵器をつくらず、持たず、持ちこませずの非核三原則を守り、国に対してもこの原則の厳守を求め、世界の平和・軍縮の推進に努めます。
1. 私たちは、原爆被爆都市の使命として、核兵器の脅威を世界に訴え、世界の人々と力を合わせて核兵器の廃絶に努めます。

私たち長崎市民は、この憲章の理念達成のため、平和施策を実践することを決意し、これを国の内外に向けて宣言します。

平成元年3月27日

長崎市議会

【参考】他市の平和宣言等③

那覇市

核兵器廃絶平和都市宣言

世界の恒久平和と安全は、人類共通の念願であり、至高の目標である。

われわれは、国連憲章ならびに日本国憲法に基づく世界の平和と「あけもどろの都市、なは」の基本構想のもとに平和、生活、文化都市の実現をめざして、安心して住める都市として発展するための努力を続けているところである。

しかるに、今日の世界は、核兵器の増大と拡散により人類の生存に深刻な脅威を与えている。去る大戦において、凄惨な地上戦を体験したわれわれは、二度と戦争をくり返さないために核兵器の完全廃絶こそが、市民にとっての安全保障であることを確認する。

われわれは、すべての核兵器保有国に対して、ただちに核兵器の廃絶を断行し、人類の平和的共存の道を踏み出すよう強く訴え、ここに那覇市は核兵器廃絶平和都市たることを全世界に宣言する。

昭和61年6月12日

那覇市

岐阜市

平和都市宣言

緑豊かな金華山と清流長良川に代表されるわたしたちのふるさととは、自由と平和をとつとぶ風土をはぐくみ、活力に満ちた住みよいまちづくりを目指しています。

この美しい自然を愛し、自由と平和を求める心はわたしたちのみならず、人類共通の願いであります。

わたしたちの岐阜市は、世界の各都市と友好・姉妹都市提携を進め、相互の信頼を深めつつ平和への道を歩んでいます。

市制施行100年を迎えるに当たり、すべての核兵器と戦争をなくすことを訴え、世界の人々とともに真の恒久平和が達成されることを願い、ここに「平和都市」を宣言します。

昭和63年7月1日

岐阜市

下呂市

下呂市非核平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類の共通の願いである。しかし、現在この地球上には数多くの核兵器が存在し、また、紛争・戦争も後を絶たず、人類の生存に脅威と不安をあたえている。

私たちは、日本国憲法の理念のもと、国是である非核三原則を遵守し、世界で初めての核爆弾による被爆国民として、核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の意義を世界の人々に訴え、この地球上に再び広島、長崎の惨禍を繰り返させてはならない。

私たち下呂市民は、美しい自然を守り後世に残していくため、あらゆる国の人々の相互理解と協調による核兵器のない平和な世界の実現に向けて努力することを決意し、ここに非核平和都市を宣言する。

平成17年6月24日

岐阜県下呂市議会

【参考】高山市の他の宣言①

○交通安全都市宣言

昭和37年3月9日
宣言

わが国産業、経済の急速な進展とともに道路交通量は著しく増加し、最近の交通事故の激増ぶりはまことに憂うべきものがあります。

近年高山市も木工、観光都市として日々めざましい躍進をとげていますが、反面交通事故の激増ぶりは市民の大きな不安となつており、とくに国道41号線改修後の交通量は著しく増加、複雑化し、交通禍の脅威はますます増大するものと考えられます。

このときにあたり、市民の総意を結集し、これらの交通事故の絶滅を期するためここに高山市を交通安全都市とする宣言を行ない、全市的に強力な施策を推進するものとする。

○明るく正しい選挙都市宣言

昭和38年2月11日
宣言

選挙は、民主政治の基礎であり民主政治の健全な発展のためには選挙が明るくかつ適正に行なわなければならない。

しかるに、近時における選挙の状況は依然として金力や情実による弊風が跡をたない実態にあり真に寒心に堪えないものがある。

このときにあたり、選挙界から選挙違反を追放し明るく正しい選挙を確立することは、地方自治の発展ひいては民主政治の発展につながるものとする。

よつて、本市議会の決議をもつて明るく正しい選挙都市たることを宣言し、市民のすべての希望と熱意を結集してこれが実現に期するよう努力する。

○国際観光都市宣言

昭和61年4月11日
宣言

美しい自然と歴史に育まれた格調の高い伝統的文化都市・高山市を、日本の心のふるさととして広く交流を通じ、諸外国に理解を求めるとともに、飛騨高山独自の魅力ある都市づくりを進め、受け入れ体制の確立を図り、市民参加を基調とした国際親善を推進するため、ここに高山市は「国際観光都市」を宣言します。

【参考】高山市の他の宣言②

〇いじめのない明るい都市づくり宣言

平成7年6月20日
宣言

いじめは人間としての権利、尊厳を侵害する行為であり、許されるものではありません。しかし、今後どこにでもだれにでも起こりうるものであります。

いじめや不登校の背景には、学歴偏重の社会、また、物質的豊かさが中心で心の豊かさを見失いがちな社会風潮など現代社会の歪みが複雑に絡み合っていると考えられます。

この問題の解決には、いじめの多くが学校における人間関係の中から派生している現状から、学校は児童生徒や保護者との信頼関係の一層の充実をはかり、一人ひとりの子どもと関わる時間の確保に努めるなかで人権意識を育み「開かれた学校」を目指し、それぞれの家庭では思いやりや善悪の判断など人間として基本的なしつけの徹底を、地域社会においては遊びや生活体験をとおして子どもの自主性・社会性を伸ばしていかなければなりません。子どものシグナルを的確にとらえ、学校・家庭・および地域が一体となった早期対応と連携した活動が望まれます。

子どもが夢を持ち、安心して学び遊ぶことのできるまちを目指す高山市は、市民の総意を結集し、いじめのない明るい都市づくりを宣言します。

平成7年6月20日 高山市